

# 第45回 Kyoto演劇フェスティバル

2024年2月10日(土) ⇒ 12日(祝)

京都府立文化芸術会館

市バス府立医大病院前下車 TEL.075-222-1046

カ・シ・ン・ゲ・キ・箱を開けてみよう!

休憩中も楽しいよー



総合司会  
近藤知史(澤クリエーション)

【主催】京都府、指定管理者 創、Kyoto演劇フェスティバル実行委員会

【協力】京都児童青少年演劇協会、京都人形劇センター

幕間パフォーマンス  
酒田しんご(ジャグリング)

2月10日(土)	和室	ごちゃませMINIシアターズ 【人形劇】	2月11日(日)	和室	人形劇ユニットぷくぷく 【人形劇】	2月12日(祝・月)	和室	春楡一座 【ドラマリーディング】
	11:30~			11:30~			11:30~	
	ホール	城陽市立寺田小学校PTA演劇サークル+ 児童劇団バワフル☆ウィン☆キッズ&ジュニア 【演劇】		ホール	みかんの木文庫&淑徳人形劇 【人形劇】		ホール	ひとり人形劇まる よっちゃんの紙芝居 【人形劇&紙芝居】
	13:30~			13:30~			13:30~	
	ホール	五蓮座 【映像朗読音楽劇】		ホール	児童劇団やまびこ座 【演劇】		ホール	ちゃんばら CLUB 喜怒哀楽 【演劇】
	15:00~			15:00~			15:00~	
	ホール	TMパフォーマンス・プロ 【舞踊劇】		ホール	浪花サムライ大使SANADA 【演劇】		ホール	宇治っ子朗読劇団☆Genji 【朗読劇】
	16:30~			16:30~			16:30~	
	和室	役者でない 【演劇】		和室	京都放送劇団 【会話劇】		和室	朗読サークル「モンブラン」 【朗読劇】
	17:30~			17:30~			17:30~	

2月10日(土)

和室

11:00開場

該当する和室公演のチケットが必要です。

11:30~人形劇

ごちゃまぜMINIシアターズ  
「ごちゃまぜMINIシアター」



人形劇ワークショップ「こすえ塾」で腕を磨いたごちゃまぜメンバーが楽しい人形劇を持ってやって来ました。

今回は9名によるショートストーリー6作品です。大型紙芝居、玉人形、わに、おばあちゃん、犬等々の可愛バクバク人形劇など楽しい作品が盛りだくさんです。

人形たちが生き生きとしゃべり出す面白さお楽しみ下さい。

ホール

13:00開場

公演日(10日)のホール1日券が必要です。

演劇に興味のある保護者でつくる寺田小学校PTA演劇サークルとこの演フェスをきっかけに誕生したパワフル☆ウィン☆キッズ&ジュニアとの合同公演です。

前回の公演「山のわくらば」から25年後の38年豪雪後の丹後半島「住山地区」が舞台です。

総勢30名で山村で懸命に生きて人たちの軌跡を描きます。

13:30~演劇

寺田小学校PTA演劇サークル+  
児童劇団パワフル☆ウィン☆キッズ&ジュニア  
「やまのわくらば」 1部 風の音  
2部 サンバ



幕間パフォーマンス

15:00~映像朗読音楽劇

五蓮座  
「雀の発心」



子雀を亡くした雀の夫婦が、悲しみを乗り越えるまでを描いた物語。雀夫婦を慰めるため、さまざまな鳥たちが詠む五七五七七の短詩が胸を打ちます。

スクリーンに映し出すのは、ぬいぐるみを使った水彩画のような美しい写真絵。飾り気のない素直な詩をメロディーにのせて歌うことで、優しさが心にじんわり染み渡ります。現代版紙芝居といった、今までにない新しい形の舞台です。

幕間パフォーマンス

日本の昔話「浦島太郎」をベースに数々の昔話の主人公が登場。舞踊的にシーンが展開します。

雪女が女将となった竜宮サロンにサラリーマンの現太郎が招かれます。

雪女・つる女房・天人女房の女としての人生を、ユーモアとファンタジーで男と女の悲しい関係を見つめなおします。

現代から昔話にタイムスリップした舞踊劇です。踊るアート人間集団TMPP

16:30~舞踊劇

TMパフォーマンス・プロ  
「Time slip 日本昔話」



和室

17:00開場

該当する和室公演のチケットが必要です。

17:30~演劇

役者でない  
「アフリカへ行って来る」



【作品介绍】

「君は日本よりアフリカの方が合う」と言われた役者でないがアフリカ(セネガル)行きを計画。航空券の購入、ビザ取得、行った経験がある人へのインタビュー等、フライト前の記憶を身一つで語り倒す、ルポルタージュ系スタンダップコメディ!

【自己紹介】

「役者でない」という芸名で演劇やダンス、ライブ、短歌等を行っております。やりたいことができることに日々感謝を。

2月11日(日)

和室

11:00

11:30~人形劇

人形劇ユニットぷくぷく  
「びんぼう神と福の神」



ホール

13:00

「みかんの木文庫」は本を手渡していく家庭文庫が主体、「淑徳人形劇」は福知山淑徳高等学校の授業、人形劇講座が主体。ともに京都北部の福知山市で活動中です。アフリカにすむキリンがペンギンを訪ねて流氷の海へ。川にすむおたまじゃくしがクジラを訪ねて大海原へ。

年月を重ねてきたみかんの木文庫と若さいっぱいの淑徳人形劇、それぞれの想いとパワーを作品たちに込めました。

幕間パフォーマンス

15:00~演劇

児童劇団やまびこ座  
「盗人森は生きている  
または狼森のおくふかく」



幕間パフォーマンス

SANADAは日本殺陣道協会のメンバーによって9月に旗揚げしたばかりの新しいチームです。協会では侍の文化を元に礼儀作法や立居振舞いなどの習得などを目的に殺陣の普及に努めて参りました。

今回は真田幸村と服部忍軍との死闘を描くアクション時代劇「真田幸村~九度山脱出!」とその後の豊臣家の滅亡を描いた台詞劇「大坂城落城悲話」の2本立てで上演致します!お楽しみに!

和室

17:00

17:30~会話劇

京都放送劇団  
「霜夜狸」「夜の客」



**開場** 該当する和室公演のチケットが必要です。

ある村にそりゃ貧乏な男が住んでいました。どうして貧乏かというのと家にびんぼう神が住んでいたからです。見かねた村人は嫁つ子を世話することに、それはめんこい元気な嫁つ子で二人は仲良く働き暮らしも楽になりました。

そしてその年の大晦日の晩、この家に福の神がやって来ることになりました。

…ところが  
大好きな作品です、ご覧ください。

**開場** 公演日(11日)のホール1日券が必要です。

**13:30~人形劇**

みかんの本文庫&淑徳人形劇  
「ぼくはキリン ぼくはペンギン」  
「おたまじゃくし海へいく」



**パフォーマンス**

都会から遠く離れた盗人(ぬすっと)森にあるがっこう。そこでは日々、りっぱなどろぼうになるための授業が行われていた。

ある日、一行は黒坂森、ざる森、狼(おい)の森を抜けた先にある金持ち村まで遠足に出かけることになるのですが…。

さてさて、無事に遠足を終えられるのでしょうか？

**パフォーマンス**

**16:30~演劇**

浪花サムライ大使SANADA  
「大坂燃ゆ」



**開場** 該当する和室公演のチケットが必要です。

今回は、宇野信夫の作品を2つ取り上げました。宇野信夫は明治37年生まれの劇作家で、又、新作歌舞伎や落語の作家として活躍し「昭和の黙阿弥」と称されています。

「霜夜狸」は信夫の新作落語で、山番の老人と老狸の交流を描き、ほのぼのとした民話のような味わいのある作品。

「夜の客」は信夫が古典落語を再話したもので、貧乏長屋に入った泥棒がとんでもない目にあうという滑稽な話です。

2月12日(祝・月)

**和室**

11:00開場

該当する和室公演のチケットが必要です。

**11:30~ドラマリーディング**

春楡一座  
「片づきたい女たち」



物に埋もれたマンションの一室で繰り広げられる、50代の女性3人の軽妙な会話。片づかない部屋は片付けられない人生と重なる。人生の来し方に思いをさせ、時に心の闇が垣間見える。

永井愛戯曲のライブ感覚あふれるやりとりを、ドラマリーディングでお届けします。今の私たちだからこそ挑める作品です。

なお、上演時間の制限のため、作者の許可を得て原作を一部カットして上演します。

**ホール**

13:00開場

公演日(12日)のホール1日券が必要です。

**ひとり人形劇まる**

去年の9月で旗揚げ30年を迎えました。本作品はまるが初めて創作したものです。自らの人生と重ねた所が折々に…。まると一緒に楽しんでいただけたら幸いです。

**よっちゃんの紙芝居**

進行性の難病がわかり入院していた時に、自分をテーマに作った処女作。自分を紙芝居の道に導いてくれた作品で、大舞台上で上演できる事に感謝します。

**13:30~人形劇&紙芝居**

ひとり人形劇まる  
「ナバタのほうき」  
よっちゃんの紙芝居  
「ボキールの時計」



**幕間パフォーマンス**

**15:00~演劇**

ちゃんばら CLUB 喜怒哀楽  
「陰陽師2024」



6年前、卑弥呼の怨霊と闘いこの京都を救った陰陽師の子孫はるあきと、式神のゴン助。芸能事務所のマネージャーになったはるあきの目の前に再びゴン助が現れ、戦国時代の京の都が土蜘蛛の怨霊によって崩壊しようとしているという！450年前にタイムリープして子ども達の笑顔を護れ！仲間を護れ！！

殺陣教室メンバー&ピカロエンタープライズのコラボ舞台をお楽しみください！

**幕間パフォーマンス**

**16:30~朗読劇**

宇治っ子朗読劇団☆Genji  
源氏物語「紫さんを待ちながら」



宇治に関わりの深い古典「源氏物語」を未来に伝えていくため、宇治市文化センターで活動し12年目を迎えます。今年度は小学生~高校生の20名が、朗読劇を楽しく学び創っています。

今回のお話は、次期大河ドラマ「光る君へ」にちなみ、作者・紫式部が登場。京都御所を舞台に「源氏物語」を愛読する女房たちが、様々な名場面をオムニバス形式で演じていきます。原作を知らない人も楽しめるオリジナル作品です。華やかな衣装で演じる朗読劇をお楽しみください!!

**和室**

17:00開場

該当する和室公演のチケットが必要です。

**17:30~朗読劇**

朗読サークル「モンブラン」  
「あらしのよるに」



初参加でワクワク・ドキドキしています、よろしくお祈りします。2021年にスタートしました。いつもは、発声練習やワークショップをしたり、朗読劇を読んだりしています。年齢・経験関係なくウェルカム。活動場所は伏見桃山の西にある龍馬館です。

今回は朗読劇「あらしのよるに」を上演します。オオカミとヤギのせつない、でもすてきな2人いや2匹の物語です。ぜひ、観にいらしてください。

特別企画

幕間パフォーマンス

ホール公演の休憩中(転換中)に舞台前にて様々なパフォーマンスが行なわれます。

出演

酒田しんご(ジャグリング)





Kyoto演劇フェスティバル(演フェス)は、京都府内の劇団・人形劇団など、表現活動を行っている団体や個人を対象に、日頃の活動成果を競い合う研さん・技術向上の場として、そして府民に対して質の高い文化活動を奨励・振興する地域密着型の演劇祭として昭和54年より休むことなく開催し続けてまいりました。

また、全国に先がけて府民参加型の合同創作劇や朗読劇、短編連続上演などの非常に多彩な特別プログラムを行うなど、「子どもから大人まで楽しめるフェスティバル」として地域に定着し、公立ホールが企画・運営を行う演劇祭として全国有数の開催回数を誇り注目を集めています。

残念ながら、近年は新型コロナウイルスの感染拡大対策のため、公募公演の休止(第42回※特別プログラムのみ実施)や、単独上演スタイルでの実施(第43回・第44回)など、創意工夫を凝らし、歩みを止めることなく回を重ねてまいりましたが、今回より従来の連続上演スタイルにて開催いたします。

演劇・人形劇だけでなく、舞踊劇や朗読劇など、多彩なジャンルの様々な作品たちが皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



京都府知事  
西脇 隆俊

昭和54年に「京都府演劇祭」としてスタートした「Kyoto演劇フェスティバル」は、府民参加型・地域密着型の本格的な演劇祭として、年々内容を充実・発展させ、このたび45回目を迎えます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、本フェスティバルも、公募公演が中止になるなど、大きな影響を受けましたが、今回も、様々な工夫を重ねながら、感染予防と演劇活動を両立する形で継続して実施します。

今回も、多彩なプログラムにより、子どもから大人まで世代を越えて参加でき、楽しめる内容となっております。出演者の皆様が目先の研さんの成果を存分に発揮され、観客の皆様と大きな感動を分かち合っていたかくことを期待しております。

京都府では、文化庁の京都移転を契機に、「文化の都・京都」の実現に向け、演劇をはじめとする様々な文化芸術の振興に積極的に取り組んでまいります。皆様のお力を借りながら、京都文化を盛り上げていきたいと思っておりますので、御協力をお願いいたします。

最後に、本フェスティバルの開催に向けて御尽力いただきました実行委員会の皆様はじめ、関係の皆様のご熱意と御努力に深く感謝申し上げます。



Kyoto演劇フェスティバル実行委員会  
委員長  
椋平 淳

「関係人口」という言葉をご存じでしょうか。もともとは地域の活性化について考える際に使われる言葉で、その地域に定住している人々ではなく、あるいはたまたまその地域に足を運ぶ旅人でもなく、その両者の中間に位置づけられるような存在です。つまり、普段はその地域にいないけれども、絶えずその地域を意識し、場合によっては実際に足を運び、その地域が元気になるよう何らかの影響を多少にかかわらず与える人々。

年に一度開催される地域の演劇祭は、もしかすると「演劇祭の」あるいは「演劇の」関係人口みたいな存在によって支えられているのかもしれませんが。会場となる劇場で定期的に公演を行っているわけではなく、場合によっては演劇を専業とするプロでもなく、普段から足しげく各地の劇場に通う演劇通でもない。けれども、生活の中にはいつも舞台への憧れや志があり、時には観劇を楽しんだり客席から声援を送ったり、さらには自身が一念発起で舞台に立ったりする。そんな人々がいざ集う場所が、地域の演劇祭なのかもしれません。

Kyoto演劇フェスティバルも、歴代のそうした人々の関りによって45年目を迎えます。今回の、そして今後の発展に向けて、皆さんもぜひ「演フェスの関係人口」に名を連ねていただければ幸いです。

入場料金

「1回券」は該当する和室公演のみ鑑賞できます。

「1日券」はその日のホール公演全てを鑑賞できます。「通し券」は全日程のホール公演を鑑賞できます。

券種	入場料金	備考
和室 [定員60名]	1回券「公演別」 高校生以下 前売 600円 (当日 800円)	チケットに記載の和室公演を鑑賞できます。 当日のホール公演のチケットをお持ちの方は、和室受付にて割引価格[一般500円/高校生以下300円]で和室当日券を販売します。 <b>(前売完売の場合、当日券はございません)</b>
	一般 前売 1,000円 (当日1,200円)	
ホール [定員407席]	1日券「公演日別」 高校生以下 前売 600円 (当日 800円)	その日のホール公演を全て鑑賞できます。 <b>(該当する公演日のチケットが必要です)</b>
	一般 前売 1,000円 (当日1,200円)	当日の和室公演のチケットをお持ちの方は、ホール受付にて割引価格[一般500円/高校生以下300円]でホール当日券を販売します。
	通し券 高校生以下 前売 1,200円 (前売のみ)	全日程のホール公演を全て鑑賞できます。 ※前売券のみ取り扱いです。
	一般 前売 2,000円 (前売のみ)	※文化芸術会館窓口のみ取り扱い

備考 ●全自由席 ●未就学児は無料 ●中学生・高校生は入場時に学生証の提示が必要です。

前売券の取扱い

◎各参加団体

上演団体公演日の「ホール1日券」または、上演団体の「和室1回券」を取扱っています。

◎京都府立文化芸術会館窓口

全プログラムのチケットを取扱っています。

TEL.075(222)1046 受付時間 9時～18時

- ◎ ※「ホール1日券」のみ取り扱い
- ①PC、電話などから下記へアクセスします  
<http://l-tike.com/> (PC・携帯電話)
- ②Lコード「56210」を入力します  
公演日を指定します  
「予約番号」が発行されます
- ③ローソン/ミニストップ各店内のLoppiで  
お受け取りください

前売開始 2023年12月24日[日]10時より

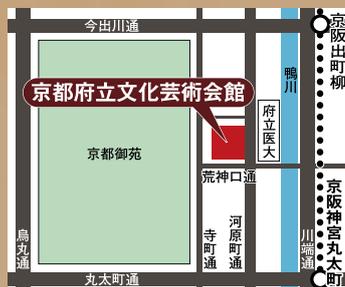
実行委員会

第45回Kyoto演劇フェスティバルは下記のメンバーにより企画・運営が行われております。

- 委員長 椋平 淳 (大阪工業大学教授・京都府立文化芸術会館シアターアドバイザー)
- 委員 岡田 尚文 (創造集団アノニム)
- 岡田 啓子 (京都芸術大学舞台芸術学科専任講師・エイチエムビー・シアターカンパニー)
- 木原アルミ (パーカーズ)
- 高杉 征司 (俳優・演出家/フリー)
- 田辺 剛 (劇作家・演出家/下鴨車窓)
- 中田 達幸 (俳優・演出家/遊劇体)
- 小林 洋介 (人形劇団京芸)
- 森井 有子 (京都児童青少年演劇協会)
- 河合 千重 (京都人形劇センター)
- 中むら 昌タカ ( )
- 大石 正子 (京都府 文化生活部 文化芸術課 課長)
- 山本 範子 (京都府立文化芸術会館 館長)

京都府立文化芸術会館 〒602-0858 京都市上京区河原町通広小路下ル

☎075-222-1046(受付時間 9時～18時) [公式HP]<http://www.bungei.jp/>



- [JR京都駅から]市バス4系統・17系統・205系統 [四条河原町から]市バス3系統・4系統・17系統・205系統
- [三条京阪から]市バス37系統・59系統 [京都バス]21系統・41系統にて京阪「出町柳」駅経由 ※いずれも「府立医大病院前」バス停下車すぐ
- 京阪電車/「出町柳」駅もしくは「神宮丸太町」駅から徒歩約12分
- ※駐車スペース(有料150円/30分)に限りがございますので公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。